

No.16 / 71

有脇小学校校長だより

2022・1・14



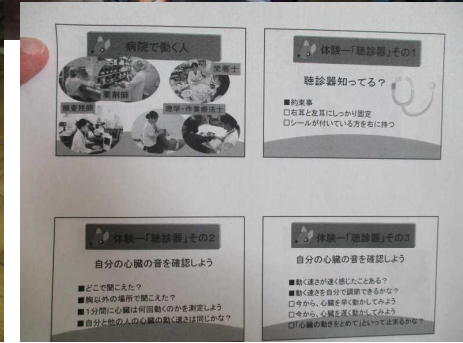
2022年，令和4年1月1日朝7時，有脇小学校校舎3階から見た“初日の出”です。毎日見慣れたはずの“太陽”が祈りの対象になるんですね。勝手と言えば勝手ですが，それでも元旦の太陽は，特別な力があるような気がしてきます。

年の初めですが，有脇小学校では学年の締めくくりの3学期になります。6年生はいよいよ卒業です。小学校生活6年間の総まとめの3か月となります。また，中学校生活の準備の期間にもなります。5年生は最高学年，有脇小学校の顔となるべく準備をしてほしいと思います。他の学年も，4月の始業式の自分と比べて，確実に成長した姿を見せてほしいと思います。1年生は，初めての“後輩”ができるんですね。体の成長とともに“心の成長”をしていきたいものですね。

そして今年も「一生懸命はかっこええ」を合い言葉にいろいろな場面で子どもたちのかっこいい姿を見ていきたいと思います。結果はもちろん大切ですが，目の前のことに一生懸命取り組んでいる姿は，間違いなく輝いていて，間違いなく“かっこええ”んです。あと3か月，何にでも一生懸命取り組んでいきます。



1月12日、5年生が“命の授業”を受けました。医師、看護師さん3名が半田病院から来てくださいました。最初に、命の始まりとして、自分の心音を聴診器で聞き、心臓が動いていること、自分が生きていることを確認しました。その後講師の方のいろいろな体験を交えたお話（がん患者さんの話や東日本大震災の話など）を聞き、「生きていることは当たり前前のことではない」「一生懸命生きる」「生きる」「自分の命は自分で守る」等のことを教えていただきました。



生と死の第一線で活躍している講師のみなさんの言葉だからこそ説得力があり、子どもたちの心に届いたと思います。“一人に一つずつ大切な命”“一つしかない命”そんな奇跡的な命ですから、自分の命はもちろん、まわりの人の命も大切に扱うことができる、あたたかな人に成長して行ってほしいと思います。



1月7日、始業式の後に有脇小学校恒例の“書き初め”を行いました。1・2年生はフェルトペンで書きました。3年生は毛筆で一文字、4年生は二文字、5年生は言葉を選択し、6年生は条幅紙に“大志を抱け”と堂々と書きました。新年のこの時期にぴったりの、心を書き表すすてきな伝統行事です。みんなとてもいい感じで書けていましたよ。